



専門科（福祉科、生活文化科）からの進学情報

Q1 本校から進学を考える場合、どのような生徒が向いていますか。



A1 高校時代に専門学習の基礎を定着させ、進学後にさらに専門性を発展的に高めることで、将来地元で専門職として働きたいと考えている生徒に向いています。

Q2 どのような仕事が考えられますか。



A2 保育士、栄養士、管理栄養士、パティシエ、社会福祉士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護師などがあげられます。

Q3 専門科で学習して進学するメリットは何ですか。下記の5点になります。

A3 1点目として、高校で専門分野についての基礎を学習できることです。進学してから学習する知識や技術を、高校時代に学習して、定着させることができます。

A3 2点目として、専門分野の内容を具体的なテーマをもって深く探究することができます。例えば、生活文化科保育コースでは、「絵本が子供にもたらす効果」、フードコースでは「和食離れの実態」、福祉科では、「高齢者の病気」など、深くテーマを掘り下げて研究できます。

A3 3点目として、高校時代に探究したい専門分野の内容が決定できるために、その内容を深く研究できる学校を進学先として選ぶことができます。

A3 4点目として、高校時代に専門分野に関する資格や検定に合格できます。福祉科は、介護福祉士、生活文化科は、保育、食物1級検定などです。進学後は、福祉関係は、社会福祉士、精神保健福祉士の資格に挑戦でき、施設・医療現場で、ソーシャルワーカーとして活躍できます。生活文化科は、保育士、幼稚園教諭、調理師の資格などにも挑戦できます。

A3 5点目として、介護実習や保育実習が充実おり、ボランティア活動をはじめとする地域交流も盛んなため、人と関わるスキルであるコミュニケーション能力を高めることができます。また地域のことを知ることで、地域とのつながりをもつことができます。

専門科からの入試および進学先について



Q4 専門科に在籍して、メリットのある入試はありますか。

A4 専門科の高校からしか出願できない推薦試験を受験することができます。自己推薦試験やAO入試は、専門科から受験した方が、レポートや志望理由書などで有利になるケースもあります。また検定の合格が、授業料の負担軽減につながる学校もあります。

Q5 どれくらいの生徒が坂下高校の福祉科・生活文化科から進学しますか。

A5 福祉科、生活文化科とも、約20%の生徒が進学をします。

Q6 どのような学校に進学しますか。〈H26～H30実績〉

A6 福祉科の場合

【四大】日本福祉大学（社会福祉学部）、中部学院大学（人間福祉学科）、同朋大学（社会福祉学部）、東海学院大学（言語聴覚専攻）など

【短大】平成医療短期大学（理学療法専攻）

【専門学校】

あいち福祉医療専門学校（理学療法学科）、あいち福祉医療専門学校（作業療法学科）国際医学技術専門学校（理学療法科）など

<看護系への進学も可能です>

中京学院大学（看護学科）、平成医療短期大学（看護学科）、あじさい看護福祉専門学校（看護学科） など

A6 生活文化科の場合

【四大】桜花学園大学（保育学部）、名古屋女子大学（家政学部）、岐阜女子大学（健康栄養科）、東海学院大学（管理栄養学科）日本福祉大学（子ども発達学部）など

【短大】名古屋短期大学（保育科）、東海学院大学短期大学部（幼児教育学科）、愛知文教女子短期大学（幼児教育学科）、愛知学泉大学短期大学部（幼児教育学科）、名古屋文理大学短期大学部（食物栄養学科）、中京学院大学短期大学部（保育科）、中京学院大学短期大学部（健康栄養学科）など

【専門学校】

名古屋こども専門学校（子ども総合学科）、岐阜調理専門学校（調理師コース）、愛知調理専門学校（調理専攻科）、名古屋調理師専門学校（調理師科） など

【坂下高校公式フェイスブック】

<https://www.facebook.com/sakashita.hs/>

